

公務災害防止について

別冊資料

- 資料1 福岡県支部における公務災害・通勤災害認定状況・・・・・・・・・・ 1
- 資料2 全国の公務災害認定事案における発生状況別推移・・・・・・・・・・ 1
- 資料3 全国の公務災害認定事案における死亡事案の発生状況・・・・・・・・ 2
- 資料4 主な報告事例（各所属の報告から）・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 資料5 地方公務員災害補償基金公務災害防止啓発ポスター（平成28年度）・・ 9
- 資料6 地方公務員災害補償基金福岡県支部ホームページのお知らせ・・・・・・・・ 11

資料1

福岡県支部における公務災害・通勤災害認定状況(平成28年度認定分)

| | 公務災害 | 通勤災害 | 計 |
|------------|------|------|-----|
| 県 | 491 | 39 | 530 |
| 市町村・一部事務組合 | 130 | 11 | 141 |
| 計 | 621 | 50 | 671 |

資料2

全国の公務災害認定事案における発生状況別推移(全職種合計)

表1 事故形態別

| 全職種 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 合計 | 割合 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| 00 墜落・転落 | 1,313 | 1,307 | 1,390 | 1,338 | 1,267 | 6,615 | 5.2 |
| 01 転倒 | 4,038 | 3,811 | 3,796 | 4,037 | 3,782 | 19,464 | 15.3 |
| 02 激突 | 1,815 | 1,877 | 1,788 | 1,854 | 1,739 | 9,073 | 7.1 |
| 03 飛来・落下 | 1,254 | 1,203 | 1,122 | 1,161 | 1,002 | 5,742 | 4.5 |
| 04 崩壊・倒壊 | 36 | 30 | 33 | 50 | 44 | 193 | 0.2 |
| 05 激突され | 787 | 993 | 1,062 | 968 | 1,113 | 4,923 | 3.9 |
| 06 はさまれ、巻き込まれ | 1,421 | 1,345 | 1,391 | 1,398 | 1,430 | 6,985 | 5.5 |
| 07 切れ・こすれ | 2,440 | 2,390 | 2,420 | 2,197 | 2,288 | 11,735 | 9.2 |
| 08 踏み抜き | 143 | 119 | 99 | 96 | 82 | 539 | 0.4 |
| 09 おぼれ | 203 | 11 | 4 | 7 | 4 | 229 | 0.2 |
| 10 高温・低温の物との接触 | 317 | 329 | 319 | 279 | 263 | 1,507 | 1.2 |
| 11 有害物質等との接触 | 266 | 237 | 214 | 184 | 167 | 1,068 | 0.8 |
| 12 感電 | 5 | 12 | 15 | 5 | 10 | 47 | 0.0 |
| 13 爆発 | 12 | 16 | 6 | 13 | 10 | 57 | 0.0 |
| 14 破裂 | 17 | 15 | 9 | 20 | 16 | 77 | 0.1 |
| 15 火災 | 44 | 35 | 25 | 29 | 28 | 161 | 0.1 |
| 16 交通事故(道路) | 777 | 825 | 841 | 825 | 795 | 4,063 | 3.2 |
| 17 交通事故(その他) | 52 | 50 | 64 | 37 | 53 | 256 | 0.2 |
| 18 動作の反動、無理な動作 | 4,417 | 4,567 | 4,698 | 4,745 | 4,555 | 22,982 | 18.1 |
| 19 故意の加害行為 | 1,075 | 1,088 | 1,066 | 1,093 | 966 | 5,288 | 4.2 |
| 20 汚染血液による事故 | 2,219 | 2,033 | 2,079 | 2,076 | 2,114 | 10,521 | 8.3 |
| 21 その他 | 2,888 | 3,069 | 3,007 | 2,785 | 2,945 | 14,694 | 11.6 |
| 22 分類不能 | 177 | 145 | 94 | 115 | 160 | 691 | 0.5 |
| 合計 | 25,716 | 25,507 | 25,542 | 25,312 | 24,833 | 126,910 | 100.0 |

表2 傷病別

| 全職種 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 合計 | 割合 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| 01 骨折 | 5,622 | 5,624 | 5,639 | 5,591 | 5,559 | 28,035 | 22.1 |
| 02 打撲・挫傷 | 5,151 | 5,207 | 5,272 | 5,491 | 5,179 | 26,300 | 20.7 |
| 03 創傷(擦過傷含む) | 3,652 | 3,636 | 3,506 | 3,454 | 3,529 | 17,777 | 14.0 |
| 04 刺傷 | 2,498 | 2,280 | 2,332 | 2,334 | 2,502 | 11,946 | 9.4 |
| 05 火傷 | 394 | 408 | 340 | 330 | 305 | 1,777 | 1.4 |
| 06 靱帯、腱断裂 | 2,104 | 2,067 | 2,096 | 2,245 | 2,336 | 10,848 | 8.5 |
| 07 捻挫(腰痛を除く) | 1,937 | 2,026 | 2,020 | 1,973 | 1,883 | 9,839 | 7.8 |
| 08 神経損傷 | 80 | 56 | 76 | 59 | 57 | 328 | 0.3 |
| 09 脳疾患 | 30 | 20 | 22 | 38 | 28 | 138 | 0.1 |
| 10 心疾患 | 5 | 8 | 7 | 6 | 13 | 39 | 0.0 |
| 11 精神疾患 | 13 | 24 | 17 | 25 | 30 | 109 | 0.1 |
| 12 呼吸器疾患 | 134 | 222 | 126 | 127 | 54 | 663 | 0.5 |
| 13 肝臓疾患 | 66 | 52 | 35 | 39 | 28 | 220 | 0.2 |
| 14 胸腹部臓器疾患(肝臓疾患を除く) | 19 | 15 | 18 | 9 | 19 | 80 | 0.1 |
| 15 食中毒 | 0 | 3 | 1 | 1 | 2 | 7 | 0.0 |
| 16 腰痛 | 373 | 345 | 289 | 352 | 319 | 1,678 | 1.3 |
| 17 頸肩腕症候群 | 7 | 7 | 13 | 7 | 9 | 43 | 0.0 |
| 18 皮膚病 | 185 | 121 | 118 | 102 | 137 | 663 | 0.5 |
| 19 眼疾患 | 258 | 266 | 290 | 258 | 279 | 1,351 | 1.1 |
| 20 耳疾患 | 28 | 27 | 18 | 28 | 25 | 126 | 0.1 |
| 21 鼻疾患 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0.0 |
| 22 溺死 | 195 | 10 | 3 | 2 | 3 | 213 | 0.2 |
| 23 その他 | 2,964 | 3,083 | 3,302 | 2,841 | 2,537 | 14,727 | 11.6 |
| 合計 | 25,716 | 25,507 | 25,542 | 25,312 | 24,833 | 126,910 | 100.0 |

資料3

全国の公務災害認定事案における死亡事案の発生状況(平成27年度)

(平成29年2月 地方公務員災害補償基金「公務上死亡災害の発生状況」から)

※通勤災害の死亡事案は除く

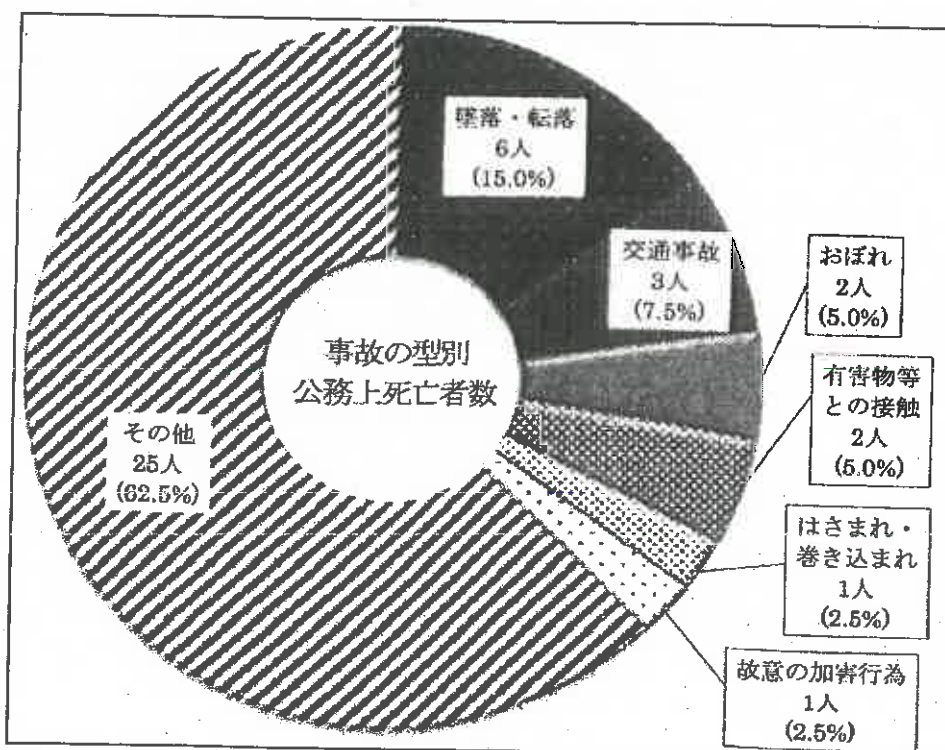
東日本大震災に起因する公務上死亡者を除いて事故の型別にみると、「その他」を除くと「墜落・転落」の6人(15.0%)が最も多く、次いで「交通事故」の3人(7.5%)、「おぼれ」及び「有害物等との接触」のそれぞれ2人(5.0%)などとなっている。

なお、「墜落・転落」による公務上死亡者6人の職員区分の内訳をみると、「その他の職員」が3人(50.0%)で最も多く、次いで「消防職員」、「電気・ガス・水道事業職員」及び「清掃事業職員」がそれぞれ1人(16.7%)であった。

事故の型別・職員区分別公務上死亡者数(事故の型別上位)

| 事故の型別 | 合計(人) | 職員区分(内訳) | (人) |
|----------|-------|--------------|-----|
| 墜落・転落 | 6 | その他の職員 | 3 |
| | | 消防職員 | 1 |
| | | 電気・ガス・水道事業職員 | 1 |
| | | 清掃事業職員 | 1 |
| 交通事故 | 3 | 義務教育学校職員 | 1 |
| | | 警察職員 | 1 |
| | | 消防職員 | 1 |
| おぼれ | 2 | その他の職員 | 2 |
| 有害物等との接触 | 2 | 電気・ガス・水道事業職員 | 1 |
| | | その他の職員 | 1 |

事故の型別公務上死亡者数割合



公務上死亡災害発生事例（全国的事例）

【事例1】 炎天下での屋外作業後、熱中症により死亡する。

団体区分：都道府県 職員の区分：その他の職員
年 齢：50歳代 災害発生年月：平成24年8月
傷 病 名：熱中症

（ 概 要 ）

早朝より出勤し、気温30℃、湿度40%を超える炎天下で防災訓練の設営、撤収作業等を行っていたところ、訓練終了後、全身が痙攣し意識障害が見られたので病院に搬送したが死亡した。

（ 対 策 ）

- 1 庁内報に熱中症予防記事を掲載した。
- 2 夏季に行われる行事等で熱中症対策が行われているか、行事の実施時期等変更の可否について調査を実施した。
- 3 産業医による熱中症予防講座を実施した。

【事例2】 ごみステーションへの移動時に、荷台から転落する

団体区分：市町村等 職員の区分：清掃事業職員
年 齢：50歳代 災害発生年月：平成27年5月
傷 病 名：急性硬膜外血腫、頭蓋骨骨折、左鎖骨骨折、前額部挫傷

（ 概 要 ）

市内のごみステーションでごみの収集を終え、次のごみステーションに向かうため、同僚が運転する車両の荷台に乗り発車したところ、荷台から転落して頭部等を強打した。救急搬送されたが、7日後に死亡した。

（ 対 策 ）

- 1 職員全員に対し車両移動時には運転席または助手席に乗ることを徹底した。
- 2 荷台上にて作業を行う際には、車両を停止させ墜落時保護用の保護帽を着用することを徹底した。
- 3 毎朝、ツール・ボックス・ミーティングを実施するよう徹底した。

【事例3】 階段から転落し、救急搬送される

団体区分：市町村等 職員の区分：消防職員
年 齢：50歳代 災害発生年月：平成27年4月
傷 病 名：びまん性脳損傷、急性硬膜外血腫、頭蓋骨骨折、脳ヘルニア

（ 概 要 ）

被災職員は、決裁処理のため書類を持ち階段を降りていた。その後、ドスンという大きな音がして、階段下で倒れているところを発見され、救急搬送されたが死亡した。

（ 対 策 ）

被災時の建物では、片側手すりの階段で、雨天時に階段下の玄関にタオルを敷くなど水対策が必要であったが、被災後、新築建物へ移転。階段は広く、両側に手すりを設け、明かりもセンサーで自動点灯されるものとなった。

また、登り降りの注意喚起を実施した。

【事例4】 粗大ごみをピットへ投入中、車止めを乗り越えて重機ごとピットへ転落する

団体区分：市町村等 職員の区分：清掃事業職員
年 年齢：50歳代 災害発生年月：平成22年11月
傷 病 名：緊張性気胸

(概 要)

被災職員は、搬入してきた粗大ごみを貯留ピットの3.5m手前でダンプアップし、可燃性粗大ごみを同僚と点検後、被災職員が作業用重機に乗り、集まった粗大ごみを広げて少量ずつ投入する作業を行っていたところ、車止めを乗り越えて作業用重機ごと可燃性粗大ごみ貯留ピットに転落した。

(対 策)

事故再発防止検討委員会、清掃労働安全衛生委員会の開催、作業手順の見直し、職場研修を行ったほか、車止め改良工事を実施した。

【事例5】 作業中にレッカー車が転倒し、車体とガードレールの上に挟まれる

団体区分：都道府県 職員の区分：その他の職員
年 年齢：30歳代 災害発生年月：平成26年8月
傷 病 名：低酸素脳症

(概 要)

被災職員は、防災訓練の一斉放水の練習のため、土のうで川をせき止める作業を行っていたところ、土のうをつり上げていたレッカー車が転倒し、クレーンの操作をしていた被災職員が逃げ遅れて、ガードレールとレッカー車の間に挟まれ死亡した。

(対 策)

移動式クレーンを使用する場合には、決裁の際に作業計画書の提出を義務づけることを総務部長名で通達した。

【事例6】 登山練習中に足を滑らせ、7メートル下の川底に転落する

団体区分：都道府県 職員の区分：義務教育学校職員以外の教育職員
年 年齢：40歳代 災害発生年月：平成23年5月
傷 病 名：外傷性ショック

(概 要)

小雨の中での登山練習中、道幅約1mの石畳の下り坂を集団の先頭として歩いていた際、左足を山側に滑らせたため足がクロスした状態になり、リュック(15kg)の重さでバランスを崩し、約6m下の大きな岩の上に落下、さらに1m下の川底に転落し、死亡した。

(対 策)

1 所属において、部活動時の安全確保と事故防止について全教職員に以下のとおり指示、取組をした。

(1)部活動時の十分な指導体制と安全対策がなされているか再検討をした。

(2)校外で活動する際、天候等による状況の変化への対応等、安全確保と事故防止に配慮した実施計画を立てた。

(3)施設、設備、用具、器具の安全点検や活動場所の安全確保を確認した。

2 所属において、部活動の指導体制は、顧問の身体的、精神的な負担を軽減するため二人以上の複数体制とした。

3 教育委員会より全学校長に、事故防止について注意喚起し、所属職員への周知を依頼した。

資料4 《主な報告事例》

各所属から提出された公務災害防止対策の主な報告事例を紹介します。
職場での公務災害防止対策にお役立てください。

| 災害の概要 | 公務災害防止対策の内容 |
|--|--|
| <p>裁断機を使用していた際、レバーを下げたところレバーがねじ込みの部分から外れ、台に指が当たって負傷した。(教員)</p> <p>プリントを裁断するため体重をかけて裁断機のレバーに覆い被さるように裁断したところ、レバーが肋骨に当たり負傷した。(教員)</p> | <p>○緩んでいたねじを固定するとともに、今後も使用するに伴い緩んでいくことが想定されることから、裁断機付近に注意書きを掲示した。</p> <p>○印刷室内に、使用上の注意について写真付きで掲示した。</p> <p>○裁断機のみならず、器具使用の際には十分気をつけるよう注意喚起した。</p> |
| <p>机の上に登り作品を掲示していたところ、天板が固定せずバランスを崩して転落し負傷した。(教員)</p> <p>蛍光灯を交換する際、机の上に椅子を置いて作業し、下りようとしたところ机の上のテーブルクロスが滑り転落して負傷した。(事務職員)</p> | <p>○適切な作業用具を準備し使用前に安全確認を行い、危険がある作業は複数の職員で行うこととした。</p> <p>○用務員等の職員が複数人で脚立を用い作業すべきである場合は、単独かつ安易な方策によらないようにするとともに、作業前の安全確認を徹底することとした。</p> |
| <p>床面が濡れた階段で足を踏み外し、転倒して負傷した。(教員)</p> <p>庁内の階段を下りていた際、バッグの紐が足に引っかかり転落して負傷した。(栄養士)</p> | <p>○吸水性の高いモップを備えて、雨天時など階段や廊下の床面が滑りやすくなっていることに気がついた職員は、モップで床面の水分を取り除く。</p> <p>○肩掛け紐をなるべく短くして必ず肩に掛けるようにし、肩に掛けない者は肩掛け紐をバッグから外すよう徹底した。</p> |
| <p>階段踊り場の窓を力を入れて閉めた際にバランスを崩し、バランスを崩したまま階段を数段下りた後踏み外して転落して負傷した。(教員)</p> | <p>○窓サッシの動きが固くなっていたため、学校安全点検日の点検項目に付け加えるとともに、学校用務員の日常の点検業務とした。</p> |
| <p>花の土の袋を台車に載せて運んでいた際、振動で袋が落ちそうになったため手をのばしたところ指を強打して負傷した。(事務職員)</p> | <p>○台車で搬送する場合、積み上げるのは適切な高さにとどめ、不安定な場合は固定することとした。</p> |
| <p>バレーボールの部活指導中、ゲーム形式の練習に参加していた際、膝を捻って負傷した。(教員)</p> | <p>○生徒とプレーをすると接触して怪我をすることもあるので、生徒と一緒にプレーすることはできるだけ避け、指導者として別の視点から指導するようにした。</p> |
| <p>検針を行うため民家の水道メーター器に近づいたところ、近くに繋がっていた犬に咬まれて負傷した。(水道事業職員)</p> | <p>○犬がメーター器近くに繋がれている場合、飼い主に対して、検針時は別の場所に繋いでもらったり、捕まえておいてもらうなどの協力をお願いすることとした。</p> |
| <p>公用車のラジエーターを点検しようとして蓋を開けたところ、噴射してきた高温の液が手にあたり負傷した。(運転士)</p> | <p>○車輛の異常の時には、職員の独断で対応を行わず、整備工場にて処置を行うようにした。</p> |
| <p>乳脂肪遠心機を回転させていたが、回転数表示部に気泡が生じ読み取れなくなったため、電源を切り惰性回転中の回転数表示部に手をかざしていたところ、装着していたゴム手袋が巻き付いて負傷した。(技術職員)</p> | <p>○機器使用時の注意事項を取り決めて確実に実践するとともに、同様の機器を所有する他の事務所にも今回の事故の概要と取り決めた注意事項を説明し、情報の共有を図った。</p> |
| <p>林野火災の消防活動に出動し、鎮火後に引き続き火災原因の調査を開始した際、手の痺れや震え、呼吸苦の症状を訴え熱中症と診断された。(消防職員)</p> | <p>○防火衣装着時に保冷剤を防火衣上衣の内部に装備するとともに、各自飲料水を携行することなどを定めたマニュアルを作成し、周知徹底した。</p> |

| 災害の概要 | 公務災害防止対策の内容 |
|---|---|
| <p>文房具をとるために椅子を利用してキャビネットに上り文房具をとったが、降りる際に足を滑らせて落下して負傷した。(事務職員)</p> | <p>○キャビネット内の整理整頓を行うとともにレイアウトを変更して文房具をとりやすいようにした。</p> <p>○高所の荷をとる際に使用する昇降台を購入し安全に作業を行えるようにした。</p> |
| <p>刈払機による除草作業中に、窪みに足を取られバランスを崩し転倒し負傷した。(事務職員)</p> | <p>○作業前のミーティングで、作業手順や危険箇所等の安全確認を行う。</p> <p>○雑草等で目視できない水路や暗渠などの危険箇所は、ポール等で目印をつけ周知する。</p> |
| <p>事務作業に使用するため長机を準備していたところ、老朽化により机が倒れ、足に当たったことにより負傷した。(事務職員)</p> | <p>○机が故障しているか点検し、修理又は廃棄する。</p> <p>○使用する前に点検するなど使用手順を定め周知する。</p> |
| <p>給食調理において揚げ物をしていたところ、揚げ物が網から落ち、油が跳ね返ったため、腕を火傷した。(調理員)</p> | <p>○作業における安全確認とそれに対応した作業工程を作成する。</p> <p>○未然防止のための研修を実施する。</p> |
| <p>ごみ焼却場の清掃中に、舞い上がった灰により視界が悪くなり足を滑らせダクト内に転落して負傷した。(清掃事業職員)</p> | <p>○安全作業マニュアルを作成するとともに月1回以上の安全衛生集会を開催し周知する。</p> <p>○作業従事前の安全確認を徹底する。</p> |
| <p>消防訓練において、防火服を着装したままランニングを行ったところ、熱中症により入院した。(消防職員)</p> | <p>○防火服を着装したままでのランニングを禁止するなど、訓練方法を見直した。</p> <p>○健康管理カードを提出するなど体調管理を厳格化した。</p> |
| <p>小学校において、肢体不自由児を昇降リフトから車いすに乗り換えさせるため抱え上げたところ、腰部を捻り腰部捻挫した。(教員)</p> | <p>○リフト等への乗り換えについて、担任のほか1名を当番制で割り当て、必ず2名体制で介助することにした。</p> <p>○福祉機関等と協力して、肢体不自由児の介助方法について習得に努める。</p> |
| <p>小学校において児童とアサガオに水やりをしていたところ、花壇のブロックに躓いて倒れ負傷した。(教員)</p> | <p>○花壇に行くとおりが平坦になるように土を入れた。</p> |
| <p>荷物を持って敷地内の下り坂を歩いていたところ、路面の窪みに躓き転倒して負傷した。(教員)</p> | <p>○路面の窪みを補修するため現状を調査し、修復した。</p> <p>○滑りやすいところなどを調査し、注意喚起した。</p> |
| <p>配線コードの束がむき出しになっており、足を引っかけて転倒し負傷した。(教員)</p> | <p>○配線コードをカバーで覆い、足が引っかからないようにした。</p> <p>○危険な部分はレイアウトを変更して通行できないようにした。</p> |

| 災害の概要 | 公務災害防止対策の内容 |
|---|---|
| <p>裁断機を使って掌サイズに裁断した紙を取ろうとしたところ、裁断機のストッパーがかかっておらず刃が下りてきてしまい、左手示指、中指、薬指を損傷した。(教員)</p> | <p>○裁断機の上に、「厳守 絶対に刃の下に手をいれないこと 使わないときはハンドルを最上段まで上げ、ロックすること」と大きく注意書きを貼り付けた。</p> |
| <p>式典の後片付けで、長机を収納する際、台車と長机の間に手が挟まり、右環指を切断した。(教員)</p> | <p>○パイプ椅子と長机を積み上げすぎないように、台車をゆっくり押すように、手元・足元を確認するように、注意書きを設置した。</p> |
| <p>実習業務のため更衣室で着替えをしたところ、更衣室の段差に躓きコンクリートの床に転倒し、左足を負傷した。(実習助手)</p> | <p>○所属内で小さなことであっても危険と思われる箇所の点検・巡視・見直しを行うこととした。</p> <p>○この災害を受け、新たに段差のない更衣用スペースを設けた。</p> |
| <p>換気扇の埃払い作業を行うために使用したベニヤ板を片付けようとしたところ、脚立と椅子の間でバランスを崩し、手を滑らせてベニヤ板が右足に落ち負傷した。(技能員)</p> | <p>○業務遂行において労働安全上問題が生じないよう貸与被服等の専用着衣(安全靴など)を使用させることとした。</p> <p>○高所等の危険と想定される業務については、単独で作業しないよう業務内容を見直した。</p> |
| <p>ごみ焼却場の清掃中に、舞い上がった灰により視界が悪くなり足を滑らせダクト内に転落して負傷した。(清掃事業職員)</p> | <p>○安全作業マニュアルを作成するとともに月1回以上の安全衛生集会を開催し周知する。</p> <p>○作業従事前の安全確認を徹底する。</p> |
| <p>教室の壁に絵を貼ろうとして、回転椅子に乗り、危ないため机に移動しようとしたところ、バランスを崩し、転倒し後頭部を打撲した。(教員)</p> | <p>○手が届かない場所での作業は、必ず脚立を使用するよう指導を徹底した。</p> |
| <p>カラス猫対策用ネットに使用していたブロックを片付ける際に、別の重しのブロックが左手に倒れ、ブロックとブロックの間に左手を挟み負傷した。(労務職員)</p> | <p>○重しを安定性のあるブロックや、チェーン等に交換してもらうよう、ゴミステーションを管理している協議会へ働きかける。</p> <p>○収集前には、現場の状況をしっかりと確認し、落ち着いて作業を行うことを徹底させた。</p> |
| <p>枝を回収車付近に運び処理できる長さにチェーンソーで短くしていたが、左手親指付け根付近をチェーンソーの刃で切ってしまう、左手部控減創を負った。(労務職員)</p> | <p>○作業時の安全確認、安全対策の特別教育講習を実施した。</p> <p>○テキストの読み直しを行い、機械のメンテナンスを実施した。</p> <p>○今後も作業を行う上で起こりえる事例なので、伐木等業務を行う際には、常に怪我に意識して取り組むよう指示していく。</p> |
| <p>雨天時の訓練実施中、雨合羽を着用しランニング終了後に熱中症にかかったもの。(消防職員)</p> | <p>○策定していた熱中症対策の検討及び検証を行い、雨合羽の着用に関する項目を設けるなど、対策のさらなる教化を図る。</p> <p>○職員の体調管理を徹底し、体調不良で訓練に挑んだ場合の危険性について説明を行う。更に、体調を適切に申告ができるような環境整備を行い、指導者が詳しく体調を把握できるように変更する。</p> <p>○一定距離を超えるランニングを実施する場合事前の計画書の提出を求めることとする。</p> |
| <p>火煙の搜索と聴取のため関係者に接触しようと歩いていた際に、橋状の通路から足を踏み外し、左膝の靭帯と半月板を損傷した。(消防職員)</p> | <p>○ミーティング時に被災事実の説明と、再発防止のために注意喚起を行った。</p> <p>○消防ヒヤリハットデータベースを使用してヒヤリハット訓練を実施し、再発防止や危険回避の意識を高めた。</p> |

(平成28年度追加分)

| 災害の概要 | 公務災害防止対策の内容 |
|--|--|
| 職員室で床にある電源ケーブルの突起物(鉄製)に左足をぶつけて打撲した。(教員) | <ul style="list-style-type: none"> ○床にある鉄製の突起について、改めて全職員に注意喚起した。 ○突起物にテープを貼り、滑らかにして段差をなくした。 |
| 脚立に登って木の枝を剪定していたところ、バランスを崩して転倒し、右手を骨折した。(教員) | <ul style="list-style-type: none"> ○高所での作業、危険を伴う作業する際は、必ず複数人で行い、脚立を固定するよう指導した。 |
| 体育祭の救護活動中に担架を準備していたところ、金具で右手親指を挟み、負傷した。(養護教諭) | <ul style="list-style-type: none"> ○日頃使用していない予備担架を含めて、定期的に留め金具等の点検・整備を行うこととした。 ○担架を使用する可能性がある行事の前には必ず、予備を含め動作確認を行うこととした。 |
| トイレが詰まって水浸しになっていたため、掃除をしていたところ、右足を滑らせ身体のバランスを崩して転倒し負傷した。(教員) | <ul style="list-style-type: none"> ○トイレマットを設置した。 ○清掃後は特に滑り易いので、トイレの壁に注意喚起する目立つ表示を設置した。 ○教職員に対して、滑りにくい履物を履くように指示した。 |
| 黒板前に2つ設置された教壇に上がり、授業を行っていたところ、高さが異なっていたため境界の段差に躓き、バランスを崩し転倒し負傷した。(教員) | <ul style="list-style-type: none"> ○災害発生後すぐに、同じ高さの教壇に入れ替え、段差をなくした。 |
| 結露で滑り易くなった廊下で左足を滑らせて捻り負傷した。(教員) | <ul style="list-style-type: none"> ○清掃時間に乾拭きを呼びかけ、湿気を拭き取るようにした。 ○雨の日や湿度の高い日は、休み時間等に「廊下を走らない」「廊下が濡れていて滑り易いので注意すること」と、校内放送で呼びかけをするようにした。 ○廊下に注意喚起するポスターを掲示した。 |
| 分場内の茶園で作業後、乗っていた摘採機がバランスを崩し転倒した際に、コンクリートの道路上に飛び降りたところ、右肩から落下し負傷した。(労務職員) | <ul style="list-style-type: none"> ○所属全員に分場内全体を対象に、労働安全上危険な場所の洗い出しをした。 ○危険箇所・通路に遮断物(鉄パイプを打ち付け、赤く目立つコーン)を設置し、摘採機を含むすべての農業用車両の出入り物理的に不可能となるようにした。 |
| 防疫業務で乳用牛の採血等を行っていたところ、採血していた牛から蹴られ負傷した。(技師) | <ul style="list-style-type: none"> ○検査頭数に応じた出張人員を確保する。 ○飼養農場の状況を十分把握し、対象牛の保定・採血手順を打ち合わせしたのち、作業を開始する。 ○対象牛の確保(補助)者を複数名配置し、牛の制御ができてから一頭ずつ作業を実施する。 ○採血者など牛に接近する作業者は、プロテクターの装着が必要とした。 |
| 施設の行事で使用したU字ブロックに躓き、前方に転倒し、左手をついた際に負傷した。(支援員) | <ul style="list-style-type: none"> ○通路で歩行の妨げになるような機材等は、当日に全て片付ける。 ○通路に照明がないので、人感センサー付き照明を4台設置した。 |
| 建物火災に出動し、消防活動のためホース延長作業等を行っていたところ、体調が悪化し熱中症等を発症した。(消防職員) | <ul style="list-style-type: none"> ○各職員の体調管理の徹底及び体調不良時の早めの報告の徹底。 ○出動時における現場到着までの水分補給及び塩分補給を積極的に行う。 ○現場活動時は、活動隊員のローテーションを可能な限り実施し、休息を与える。 ○職務遂行のための体力維持を図るため、最低限の体力錬成を実施する。 ○防災衣の中に入れる保冷剤を準備し易くするために、車庫内に冷蔵庫を移設した。 |



資料 5

「公印省略」

地基福第 104 号
平成 29 年 3 月 3 日

福岡県知事
企業局長
各種委員会事務局長 } 殿

地方公務員災害補償基金
福岡県支部長 小川 洋

地方公務員災害補償基金公務災害防止啓発ポスターの配布について

日頃から、公務災害等の認定及び補償の事務の実施に当たり、御協力賜り厚くお礼を申し上げます。

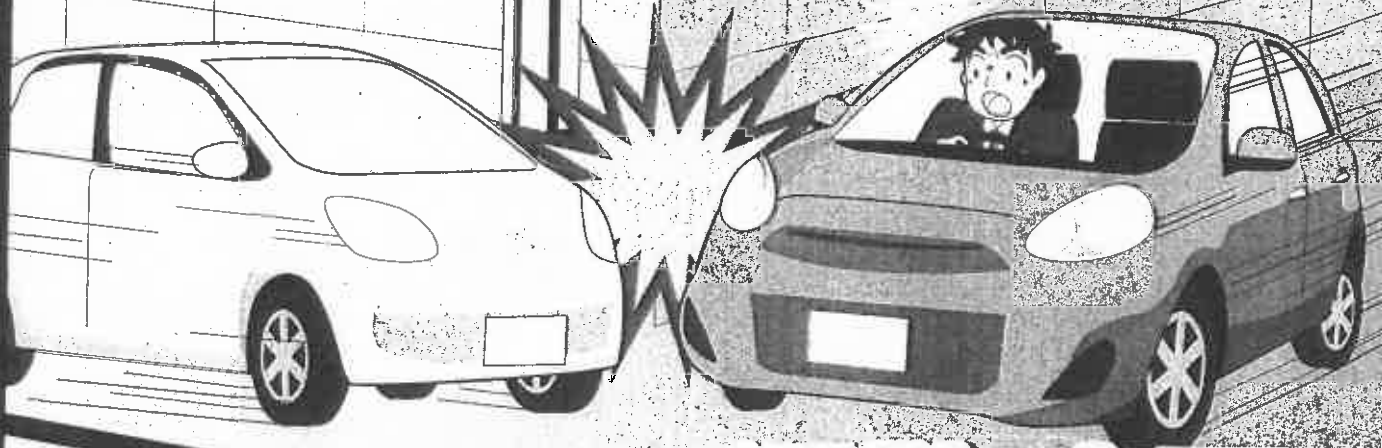
さて、地方公務員災害補償基金福岡県支部では、この度標記ポスター「災害に備える心とゆとりの心」を作成しましたので、送付いたします。

今後の安全衛生にぜひ御活用いただき、各職場における公務災害の未然防止の取組を強化していただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

地方公務員災害補償基金福岡県支部
〒812-8577
福岡市博多区東公園7-7
福岡県総務部総務事務厚生課内
TEL 092-643-3031
FAX 092-633-3438

災害に備える心と ゆとりの心



通勤・出張は

ゆとりを持って!



STOP! 公務災害

地方公務員災害補償基金福岡県支部
<http://fukuoka-chikousaikikin.jp>

資料6

◎地方公務員災害補償基金福岡県支部ホームページのお知らせ

地方公務員災害補償基金福岡県支部では、ホームページを開設しています。
是非ご活用ください。

地方公務員災害補償基金福岡県支部ホームページ
<http://fukuoka-chikousaikikin.jp>

請求に必要な様式、研修会テキストのほか、認定の事例、Q&Aも掲載しています。こんなときどうするのかなどというときに…

まずチェックしましょう！！

地方公務員災害補償基金発行のヒヤリハット事例集も掲載しています。
よくある事例のカラー(又は2色)イラスト、対策のアドバイスなどが掲載されていますので、安全衛生の研修などには是非ご活用ください！！

◎地方公務員災害補償基金ホームページ

地方公務員災害補償基金ホームページでは、法令・通達その他、多くの資料が掲載されています。ご活用ください。

地方公務員災害補償基金ホームページ(基金本部のホームページ) <http://www.chikousai.jp>